

茅ヶ岳 (かやがたけ 1704m)



久々の晴れ模様で、バスは中央道蕪崎 IC から国道 27 号線を快調に北上し、深田公園駐車場に到着。すがすがしい秋空の下準備体操で体をほぐし、佐野さんをリーダーに参加者 14 名で出発。◆山道を 30 分ほど歩くと舗装された林道に出る。ここから道は二手に分れるがいずれの道も山頂へ通ずる道で、今回は右側(東側)ルートを登り、左側を下ることにした。右ルートは今では珍しくなったアカマツが多い山林の中にあり、昔は村人がさかんに薪炭材を採りに入った山のような気配がする。傾斜も緩やかで歩き易

く、道端には真っ赤な実をつけたマムシグサが目立った。◆女岩からは、といっても女岩がどれかわからなかったが、急に岩が多くなり手を使っての急登となる。息を弾ませながら登っていると、たくさん実をつけたヤマブドウがあった。残念ながら手の届くところにはなく、先客がいたらしい。しばらくすると女岩のコルに到着。近くに深田久弥の終焉の地碑が建っていた。昭和 46 年 3 月、この地で登山中に脳出血で急逝したのだという。◆一汗かいて山頂に到着。頂上はバレーコート片面ほどあり、いくつかのパーティーが昼食を摂っていた。見晴らしはよかったが、残念ながら南アルプス、八ヶ岳などは雲に隠れ裾野しか見えない。それでも北側の瑞牆山や金峰山などは望むことができた。昼食と集合写真をすませ山を下る。◆下山路は明るい尾根道で、木々の葉も色づいていたがまだ赤味に乏しく、全体としての紅葉はイマイチだった。それでも枯草に混じって、リュウノウギク、オヤマボクチなどが咲き、リンドウやトリカブトなどの青紫の花が去り行く季節に彩を添えていた。◆山を下ると深田公園に出た。ここには深田久弥の「百の頂に百の喜びあり」と刻まれた碑があり、この言葉を胸に帰りのバスへ。帰りはコンビニ立ち寄り、栄養補給。今日のフィナーレにふさわしくここからは茅ヶ岳がよく見えた。今年あまり天候に恵まれなかったが、今回は秋空の下、久しぶりに頂上への達成感を味わえた山旅だった。



北市民セ 6:00→ 八王子 JCT7:00→ 釈迦堂 SA7:55
→ 蕪崎 IC→ 深田公園駐車場 8:45 着 9:00 発→ 女
岩付近 10:10→ 女岩のコル 11:00→ 山頂 11:30(昼
食) 12:00 発→ 分岐点 13:40→ 福田公園駐車場
14:10 着 14:20 発→ コンビニ 14:40→ 双葉
SA14:50 着 15:20 発→ 鶴ヶ島 IC17:15→ 北市民セ
17:40 @5000 (南雲記)